

総務建設委員会視察研修報告

- 日時 平成 27 年 6 月 29 日（月）～7 月 1 日（水）
- 研修先 熊本県菊陽町 中小企業振興等基本条例について
福岡県筑後市 定住促進事業について
長崎県雲仙市 定住促進事業について
農業振興支援策について

総務建設委員会では、「活力あるまちづくり」を主なテーマとして調査研究に取り組んでいる。

今回は、その中で、中小企業振興策・人口減少対策・農業振興支援策の 3 つについて、更に研究を深めるため、6 月 29 日～7 月 1 日の 3 日間で九州地方に先進地視察研修を行った。

中小企業振興等基本条例・・・**熊本県菊陽町**

熊本市のベッドタウンとして、主要幹線道路の整備や大型店舗が出店する一方で、町内の事業者や中小企業を取り巻く環境は極めて厳しい状況であった。地域経済を支え、地域社会にも貢献を果たす中小企業の振興が菊陽町の発展に欠かせないものであることを地域で共有し、中小企業同友会の働きかけにより、平成 23 年 3 月に、「中小企業等振興条例」が制定された。

条例の大きな柱は、①農商工連携の推進（異業種間連携）、②町内企業・事業者の人材育成、③観光資源の発掘及び開発の 3 つをあげ、条例に基づいて、中小企業等活性化会議を設置し、具体的な施策について調査・審議をしている。

牧之原市においても市内企業の 90%が中小企業であり、市の活性化を図るためには中小企業（商店）の振興のための施策は欠かせないものである。中小企業等振興基本条例の制定が必要であるのか委員会でもう少し続けて研究していきたい。

定住促進事業について・・・**福岡県筑後市・長崎県雲仙市**

筑後市は、筑後平野の中央に位置する平坦な田園都市であり、平成 24 年度までは緩やかに人口増加していたが、26 年度をピークに減少に転じていくことが予測されることから、平成 25 年度に定住人口の増加を図るよう「筑後市定住促進行動計画」が策定された。

具体的な事業メニューは、出会いの婚活プロジェクトから、新婚世帯家賃支援事業、多子出産祝い金事業や安心して暮らせる地域デイサービスなど、一連の施策が掲げられていた。

空き家対策についても平成 23 年度には実態調査を開始し、平成 26 年度には条例を制定するなど空き家バンク事業も順調に進んでいた。

雲仙市は、平成 17 年 10 月に 7 町が合併して誕生した市で、今年 10 年目を迎えるが、牧之原市と同じように、合併以来人口減少が進んでおり、今後も減り続けることが予想されるため、平成 26 年度に「定住促進計画」をたて、雲仙市に若者を増やすための定住・移住促進に取り組んでいる。

具体的な施策は、定住促進補助金や新築住宅取得補助金、また空き家対策として空き家活用促進奨励金などの補助制度が設けられていた。

牧之原市においても、人口減少の現状を考えれば定住促進のための事業展開は必要である。補助事業を厳選する中で、市民はもちろん市内外へもわかりやすく PR していくことが大事である。

農業振興支援事業について・・・長崎県雲仙市

雲仙市の農業作物は、じゃがいも、レタス、玉ねぎなどであり、平成 24 年度から農業振興支援施策として、「キラリと光る雲仙産地支援事業」を展開している。

新規就農支援や女性農業者支援、スキルアップ支援事業など各種補助金をつけての支援策が構築されていた。

牧之原市においても、近年の茶価の低迷により、後継者不足や増え続ける耕作放棄地など農業事情は深刻なものである。農業のための支援策も制度化されているが、農家が利用しやすい支援策も設け、PR していくことが必要である。

3 日間の先進地視察は、「活力あるまちづくり」の調査研究には大変参考となる有意義なものでした。今後、総務建設委員会として調査研究のまとめをしていきたいと思います。



熊本県菊陽町での研修風景



長崎県雲仙市での研修風景